

会 議 録

会議の名称	白岡町自治基本条例町民推進会議（第6回）
開催日	平成24年4月17日（火）
開催時間	午後7時00分 から 午後8時40分 まで
開催場所	白岡町役場3階 庁議室
出席者（出席委員） の氏名・出席者数	<p>会 長 齋藤 信治 副会長 神田 芳晃</p> <p>委 員 内山 欣春 委 員 柴山 利幸 委 員 清水 律子</p> <p>委 員 本田 尚子 委 員 宮崎 博 委 員 矢島 静江</p> <p>委 員 柳 祐作 委 員 山口 孝雄 委 員 渡部 勲</p> <p style="text-align: center;">11 人</p>
欠席者（欠席委員） の氏名・欠席者数	委 員 大八木健夫
説明員の職・氏名	<p>市民協働課</p> <p>参 事 金子 勇二 課長補佐 河野 彰</p> <p>主 査 千葉 智則 主 査 金子 敬相 主 事 松本 拓也</p>
事務局職員の職・氏名	<p>市民協働課</p> <p>参 事 金子 勇二 課長補佐 河野 彰</p> <p>主 査 千葉 智則 主 査 金子 敬相 主 事 松本 拓也</p>
その他会議出席者の 職・氏名	財政課 課長 高澤 利光 街づくり課 主査 岩楯 浩志
会議次第	別添のとおり
資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第6回白岡町自治基本条例町民推進会議プログラム ・ 白岡町自治基本条例町民推進会議委員名簿【資料番号1】 ・ 第5回ワークショップのまとめ【資料番号2】 ・ 第5回会議の会議録【資料番号3】 ・ 白岡町協働のまちづくりモデル事業補助金（案）の概要【資料番号4】 ・ 第7回会議の開催通知

発 言 者	会議経過（議事の要旨） 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
金子参事	<p>* 人事異動により他課へ転出した高沢課長及び岩楯主査からのあいさつ、及び市民協働課の職員紹介が行われた。</p> <p>1 開会 開会を宣する。</p>
齋藤会長	<p>2 あいさつ 齋藤会長から、あいさつがなされる。</p> <p>3 議題 (議事の進行である議長については、当会議設置要綱第6条第2項により、会長がその議長を務める。)</p>
齋藤会長	<p>(1) 本日のワークショップの進め方について 本日のワークショップの進め方について、事務局から説明を求める。</p>
千葉主査	<p>配布資料の確認をした後、ワークショップの進め方について説明を行った。</p>
齋藤会長	<p>事務局からの説明が終了した。質疑をお願いしたい。 (質疑なし)</p> <p>(2) ワークショップの実施 A、Bの2グループに分かれてワークショップを行った。 各委員が事前に挙げた「町民側の課題に対する解決策」について、グループで話し合いを行った。</p>
齋藤会長	<p>(3) ワークショップの検討結果発表 Bグループに対し、ワークショップの検討結果についての発表を求める。</p>

	<p>【Bグループ発表者 宮崎委員】</p>
齋藤会長	<p>Bグループからの発表が終了した。質疑をお願いしたい。</p>
A委員	<p>他市の3000人にはがきを送り委員を募集したという事例と同様、はがきを送って参加を呼びかけるという説明があったが、対象者は無作為に選ぶのか。</p>
B委員	<p>無作為である。無理にでも出してもらうようにしないと応募は集まらないと思う。意識のある方はいると思うので、気持ちを後押しする仕掛けが必要だと考えた。</p>
A委員	<p>Aグループでも同様な意見が出たが議論が発展しなかった部分なので、同じ意見として吸収できる部分があればと思う。</p>
齋藤会長	<p>Aグループに対し、ワークショップの検討結果についての発表を求める。</p>
	<p>【Aグループ発表者 柴山委員】</p>
齋藤会長	<p>Aグループからの発表が終了した。質疑をお願いしたい。</p>
C委員	<p>説明の中で参画はやりたい人だけやればよいという説明があったが、やりたくない人の活用をどうするのかについては意見が出たか。もし出ていれば教えてほしい。</p>
A委員	<p>やりたくない人というのは、情報もコミュニティもないという状況の中にいるため、参画したいという意思が動いてきていないということだと思う。</p> <p>Aグループの中では、やりたくない人を引っ張ってきても実のある話ができないのではないかという意見があったため、やりたくなるような環境づくりをし、誘導していくことが必要ではないかという結論になった。</p>

C委員	<p>周りの環境を変えることで、関心を持つことができるのではないかということか。</p>
A委員	<p>そうである。Aグループでは人にやらされるのはいやだろうという意見が多かった。</p>
D委員	<p>無作為抽出で3000人に案内を出すことには、宣伝効果がある。どのようなことをやっているのかが3000人に周知されれば、それらの人が関心を持つようになり、それが広まると次のまちづくりにつながると思う。</p> <p>3000人に案内を出すという提案は、このような趣旨で話し合われたものである。よって、やりたくない人を無理やり連れてこようという手法ではないということを御理解いただきたい。</p>
齋藤会長	<p>4 その他</p> <p>事務連絡について、事務局に説明を求める。</p>
千葉主査	<p>(1) 第5回会議の会議録の確認等について</p> <p>会議録をお持ち帰りいただき、修正点等が無いかが御確認をお願いしたい。修正等がある場合は、4月23日（月）までに御連絡をお願いしたい。</p>
千葉主査	<p>(2) 第7回会議の開催について</p> <p>次回の会議は、5月22日（火）午後7時から開催する予定である。次回のテーマは、「町民と行政が担うべきもの」についてである。事前課題シートについては、後日、皆さんに余裕を持って御検討いただけるようお配りする。</p>
金子主査	<p>(3) 白岡町協働のまちづくりモデル事業補助金（案）の概要について</p> <p>資料番号4に基づき説明を行った。</p>
齋藤会長	<p>事務局からの説明が終了した。質疑をお願いしたい。</p>

E委員	白岡町協働のまちづくりモデル事業補助金について、どのようにPRすることを考えているのか。
金子主査	広報5月号で募集する予定である。また、ホームページでも募集を行うことを考えている。
C委員	事業の募集と選定委員の募集を行うのか。
金子主査	事業の募集のみで考えている。選定委員については、町民推進会議委員の方の中から2名お選びいただき、入っていただきたいと考えている。
B委員	対象団体の条件に活動実績が入ってなくてもよいのか。このために規約と会則を整備して応募するということでも考えられるが。
金子主査	普及・啓発という意味もあるので、幅広い団体に関心を持っていただき、この事業をきっかけに活動をしていただければと考えている。
A委員	補助対象事業について想定している事業はあるのか。
金子主査	アダプトプログラム等がよい例であると思う。 町が管理している施設を町民の方の視点を生かして管理していただき、町からは土や看板等の材料費を負担するといったものを想定している。
A委員	県のNPO関連の補助金募集欄に出したりする予定はあるのか。
金子主査	現段階では考えていない。
A委員	そちらで募集するとすぐ広まると思うが、募集事業の内容が抽象的過ぎて募集したくても二の足を踏んでしまうのではないかとも思われる。

金子主査	参考にさせていただく。
F委員	この事業をきっかけに、町の事業を「民」に移行する意図はあるのか。
河野補佐	事業を役所が一律で決めて実施するよりも、地域毎の考え方を取り込んで住民の方に実施してもらった方が地域に適したものができるのではないかという意図がある。また、地域としてどのような形が良いのかということと一緒に考えていただくということも目的としてある。
F委員	良いことだと思う。協働というのは本来そういうことだと思うので、町の方で民間が担ってほしいと考えている事業があれば、具体的に示してもらおうと検討しやすいのではないか。
C委員	個人的な意見だが、提案がたくさん出るのであれば、2名だけではなく町民推進会議の場で、皆さんで考えるというのでもいいのかなと考えている。
齋藤会長	<p>5 閉会</p> <p>閉会を宣する。</p>